

トマシュ・リッテル

くにおんフォルテピアノリサイタル

第1回ショパン国際ピアノコンクール第1位
2024年ブルージュ国際古楽コンクール第1位

2025年

6月27日(金)

18:00開場/18:30開演

Tomasz Ritter

国立音楽大学
講堂小ホール

入場無料・要予約
(全席自由) ※詳細は裏面へ

レッセル
幻想曲 Op.8 ハ長調

モーツァルト
ピアノ・ソナタ KV284 ニ長調

ベートーヴェン
ピアノ・ソナタ Op.27-2 嬰ハ短調「月光」他



アントン・ワルター製
1795年頃
(太田垣 至 氏 2025年複製)

国立音楽大学創立100周年記念事業 主催：国立音楽大学楽器学資料館

100th
Anniversary

トマシュ・リッテル

2018年に行われた、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクールで第1位。

1995年ポーランドのルブリン生まれ。ワルシャワのシマノフスキ国立音楽学校を卒業後、2014年モスクワ音楽院で、ピアノとフォルテピアノをリュビモフに、チェンバロをウスペンスカヤに学ぶ。またハンプルク音楽演劇大学のルトコウスキ教授の下でピアノとピリオドピアノを修めた。

HIP (Historically informed performance 歴史的情報に基づく演奏)はリッテルの活動に重要な位置を占めている。M.ビルソン、A.シュタイアー、T.コッホらに影響を受け、P.マクナルティやE.ブンクラのピリオド楽器のコレクター/修復家とも交流を持つ。

これまでソリストとしてポーランド放送響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、18世紀オーケストラ、ハッハ・コレギウム・ジャパンなどと共演し、サントリーホールでの室内楽(2019年)、カーネギーホールでのA.ルービンシュタイン記念リサイタル(2019年)に出演。欧米や日本で活動を広げている。

2023年にハイドン、ベートーヴェン、ショパンなどを収めた3枚目のCDが国立ショパン研究所(NIFC)からリリースされた。

Tomasz Ritter

くにおんフォルテピアノとは？

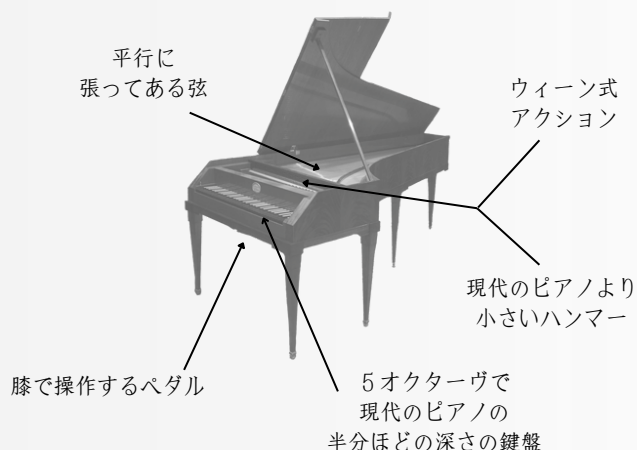
国立音楽大学創立100周年を記念して製作したピアノ。
鍵盤楽器製作者の太田垣至氏によるアントン・ワルターの複製楽器です。
この楽器を通じて音楽教育の充実と音楽文化の発展に寄与することを誓い「くにおんフォルテピアノ」と名付けました。新校舎設立時に伐採された本学のシンボルツリーを、楽器の一部に使用しています。



アントン・ワルター (1752-1826)
Anton Walter

ウィーンで活躍した鍵盤楽器製作者。
ワルターのピアノは、モーツァルトや
ベートーヴェンなどが所有していました。

現代のピアノとの違い



予約 / 3月31日(月) 9:00～

チケットサイト「teket」
のイベントページより
ご予約ください。

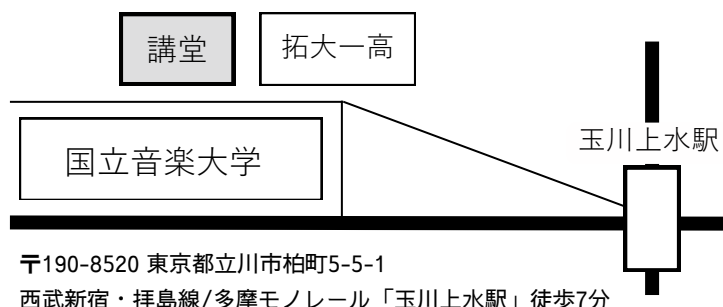
※無料、会員登録は任意
※不具合などが発生した
場合はお問い合わせください。



予約ページ

楽器学資料館イベントページにもリンクと詳細を掲載しております。

会場/国立音楽大学講堂小ホール



〒190-8520 東京都立川市柏町5-5-1

西武新宿・拝島線/多摩モノレール「玉川上水駅」徒歩7分